

“自動みずとめ” ホテル用定量止水付 ミキシングシャワーバス 金具・混合栓

TOTO

ご愛用のしおり

■このたびは、TOTOホテル用定量止水付ミキシングシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3
各ハンドルの役目	4
つかいかた	5～7
使用上の注意	8～11
凍結予防のしかた	11
最大設定量の調節のしかた	12～13
手入れのしかた	14
ストレーナの掃除	14
故障したときは	15～16

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをします。 (シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをします。 (シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをします。 (シャワー付)
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。
直接肌を触れないでください。
やけどをします。 (カラン付)
- (5)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをします。 (シャワー付)

(6)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをします。 (シャワー付)

(7)他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

やけどのおそれがありますので、シャワー使用時の2カ所同時使用はなるべく避けてください。 (シャワー付)

(8)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。

切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かずには湯を出すと、やけどをします。 (切替弁付)

(9)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 (寒冷地用)

(10)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起すおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

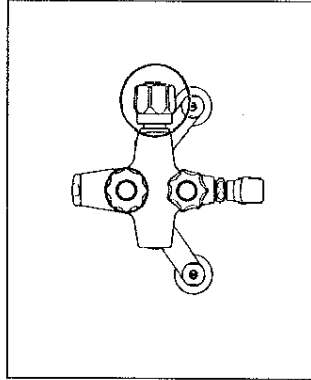
特長・各部のなまえ

1. 希望湯量を設定すれば今までのように浴槽に湯をためる間、いちいち湯量を気にする必要がありません。
2. 浴槽の大きさに合わせて必要とする湯量以上吐水しないよう最大設定量の調節ができます。
3. 湯をあふれさせない心配がありませんので節水省エネに役立ちます。
4. 湯量の制御は時間ではなく、実際に流れる湯の量で制御する機構のため、水圧の変動で湯量が変わることがほとんどありません。
5. 温度調節ハンドルひとつで水-湯-熱湯と自由に温度調節ができます。
6. 自動バルブは緩閉止機構を採用し、ウォーターハンマを防止しています。
7. 内部機構はカートリッジ式になっていますので、万一故障しても取り替えは簡単です。
8. 寒冷地用の場合は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

<p>一般用</p> <p>TM525CG</p> <p>寒冷地用</p> <p>TM525CGZ</p> <p>TM525CGHZ</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>付属部品</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレーナ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	付属部品	数	ストレーナ	1
付属部品	数					
ストレーナ	1					
<p>一般用</p> <p>TM525AG</p> <p>寒冷地用</p> <p>TM525AGZ</p>						

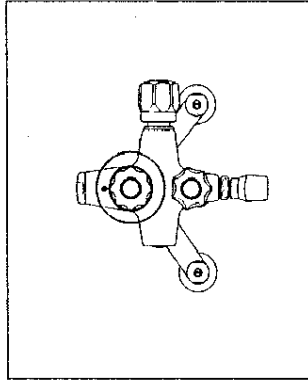
各ハンドルの役割

1. 温度調節ハンドル



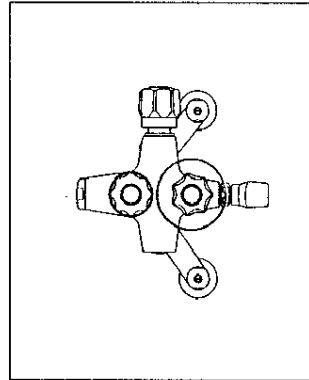
水と熱湯を混合させて温度の調節をします。なお、このハンドルでは、湯水を止めることはできません。

2. 設定ハンドル



カランの開閉ハンドルです。浴槽に湯をためるとき、希望湯量に目盛を設定すれば、吐水した後自動的に止水します。

3. シャワーハンドル……シャワーバス金具の場合のみ

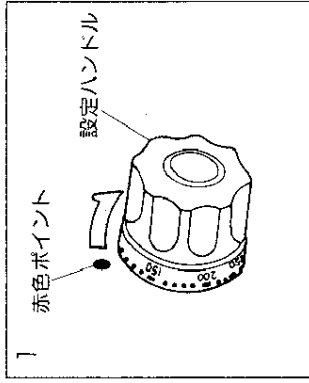


シャワーの開閉ハンドルです。

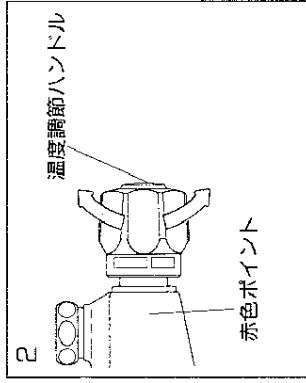
つかいかた

〈設定ハンドル使用の場合〉

◆自動で閉止させるとき



設定ハンドルを矢印方向に回すとカランから水が出はじめます。希望の目盛を本体の赤色ポイントに合わせてください。120以下の目盛に設定するときは、一度120以上回してから戻して設定してください。

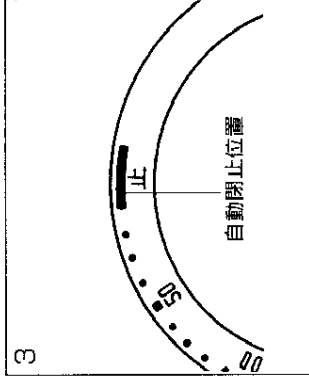
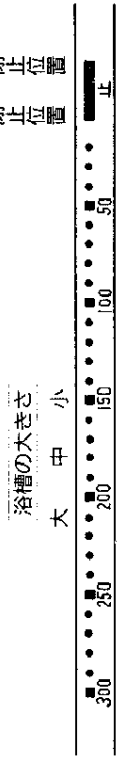


温度調節ハンドルを回しながら湯加減をみてください。赤色ポイントに「C」を合わせると水がでます。ハンドルを右に回すと徐々に温度が上がり、「H」を合わせると最高の温度になります。

目盛の目安

ハンドルの数字がおよその湯量です。(例:150=150ℓ)

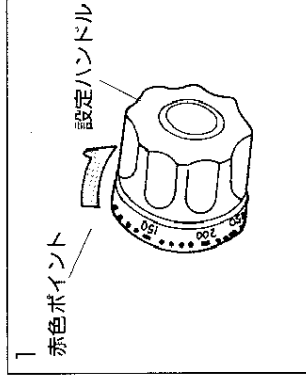
下図に設定位置の目安を示しますが、一度湯をためてみてお取付けの浴槽に合った湯量を確認してください。自動閉止位置と手動閉止位置には若干のズレがあります。



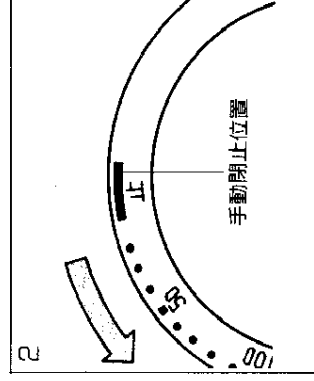
設定湯量を吐水したのち、図に示す位置で、自動的に止水します。

注:水をためて風呂を沸かす場合は、必ず浴槽内の水量を確かめてください。

◆手動で閉止させるとき



自動閉止の必要のないときは、設定ハンドルを矢印方向へ目盛120以上に回してください。

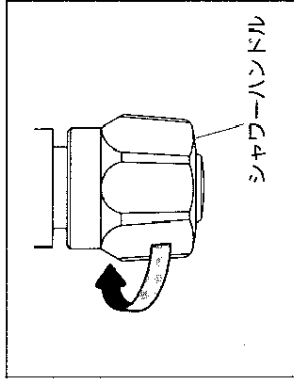


湯を止めるときは、設定ハンドルを止まるまで矢印方向へ回してください。

使用上の注意

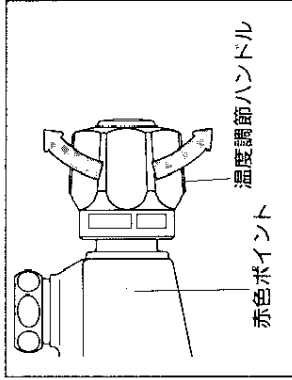
〈シャワーハンドル使用の場合〉……シャワーバス金具の場合のみ

1. 吐水



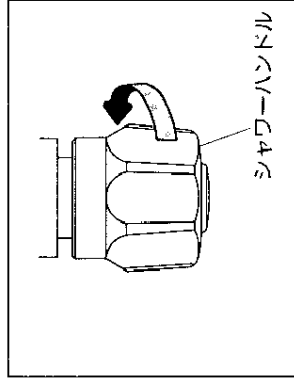
シャワーハンドルを左へ回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと流量が最大になります。

2. 温度調節



温度調節ハンドルを回しなから湯加減をみてください。赤色ポイントに“C”を合わせると水が出ます。ハンドルを右に回すと徐々に温度が上り、“H”を合わせると最高の温度になります。

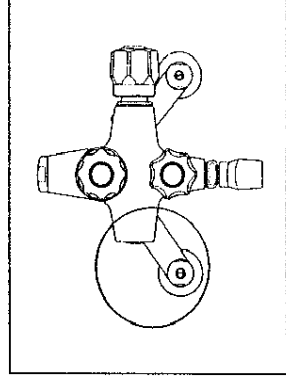
3. 止水



シャワーハンドルを右へ、一杯に回してください。

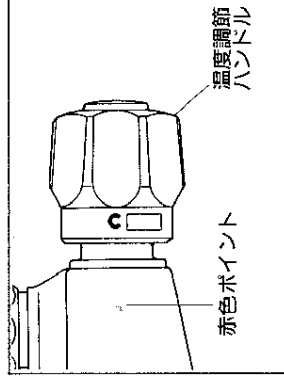
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意すること



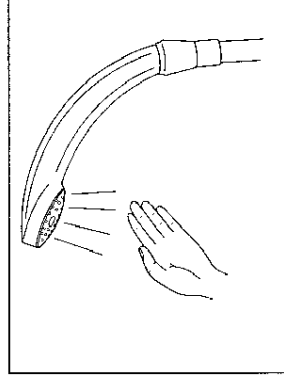
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

2. 吐水する前に温度調節ハンドルが“C”になっていることを確かめる



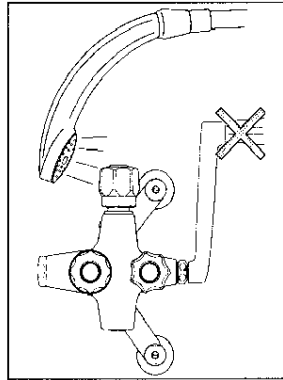
温度調節ハンドルが“H”の位置で吐水させるといきなり熱湯が出て危険です。必ず温度調節ハンドルが“C”になっているかを確認してください。なお、使用後は温度調節ハンドルを“C”にしておいてください。

3. 使用前に湯温を確かめる



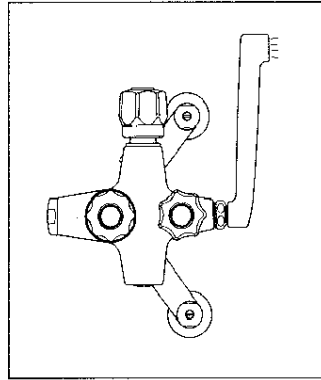
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

4. カランとシャワーを同時に使用しないこと



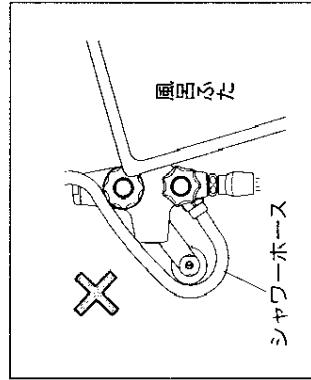
シャワー使用時にカランから吐水するとシャワーの湯温が若干変わることがあります。カランとシャワーを同時に使用しないでください。

5. しばらく吐水させて使用する



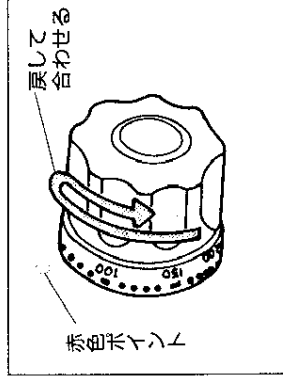
設定ハンドルやシャワーハンドルを開いた直後は、給湯配管内に溜っていた高温の湯や、ときとしては冷水がでるなど、温度が変化することがあります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。なお、高温で吐水させた後は、温度調節ハンドルを「C」にし、高温の残水を流しておいてください。

6. 自動吐水時は設定ハンドルの自動回転を妨げないこと



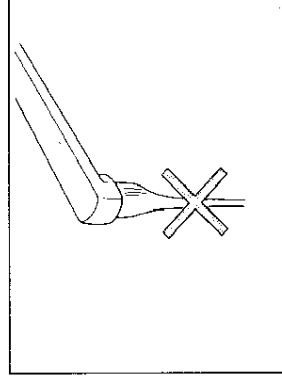
自動吐水時は設定ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。(風呂ふた、シャワーホースなどが設定ハンドルにあたらぬようにしてください。)

7. 120以下に設定するときは、120以上に回してから設定すること



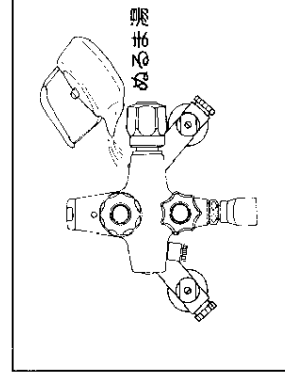
湯量を120以下に設定するときは、必ず設定ハンドルを120以上に回してから希望する目盛に戻してください。(そのまま120以下の目盛に合わせると、自動止水しません。)

8. 流量を極端に絞らないこと



流量は止水栓で調節できますが、余り極端に絞ると、精度が悪くなり自動止水しないことがありますので、目盛150(約150ℓ)のとき、少くとも30分以内で止水するぐらいの流量でご使用ください。

9. 凍結すると少しの間吐水しませんが(寒冷地用の場合)



凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナやギアの表面に付着した水滴が凍ることがあります。通水後吐水しない場合や設定ハンドルがたたくて回らない場合は、ぬるま湯であたためてください。

給湯機がガス瞬間湯沸器の場合は次の点にご注意ください

1. 手動ハンドルは全開でご使用ください。
2. 湯沸器の温度調節つまみを(高)の位置にし、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
3. 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。
4. 能力が小さい湯沸器では、冬場の水温の低いときなど、適温の流量が少ないため、自動吐水が正常に作動しない場合がありますので注意してください。

凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同封の「水抜方法」のラベルにしたがって器具内の水抜きをしてください。

なお、ラベルは器具の近くに貼りつけてください。

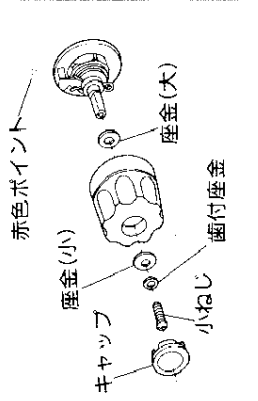
最大設定量の調節のしかた

この器具は目盛300(約300ℓ)まで設定できますが、浴槽の適量以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量を調節することができます。

次の要領で調節をしてください。

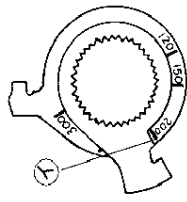
- 調節する前に
 - (a) 浴槽の適量を調べる。設定ハンドルの目盛はおよその水量(ℓ)を示しますので、浴槽に水をためてみると適量がわかります。
 - (b) 水側・湯側の止水栓を閉める。
 - (c) 設定ハンドルを目盛100に合わせる。

1. キャップ・小ねじ他をはずして設定ハンドルを取りはずしてください。

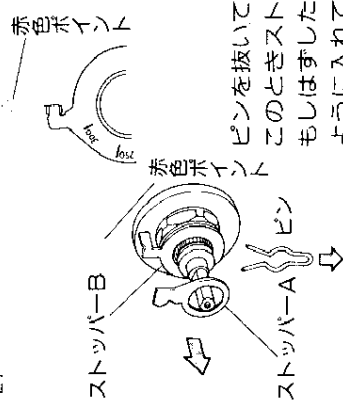


3. ストップバーBの数字はおよその湯量(ℓ)を示します。数字は50単位になっていきますが10単位の設定が可能です。あらかじめ調べた適量の数字にストップバーAの位置を合わせてください。下の図は約200ℓ

に合わせたときを示します。ストップバーAを120以下にセットしないでください。



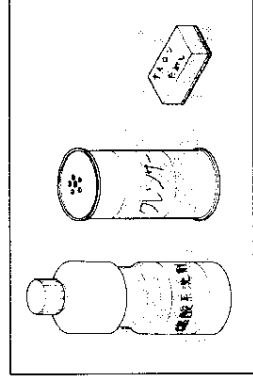
2.



ピンを抜いて、ストップバーAをはずしてください。このときストップバーBははずさないでください。もしはずした場合は、赤色ポイントに対して図のように入らせてください。

手入れのしかた

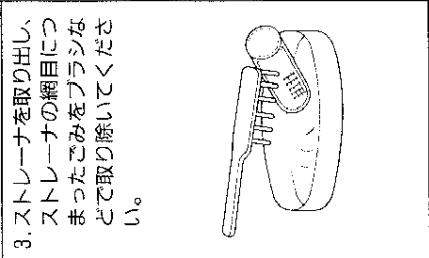
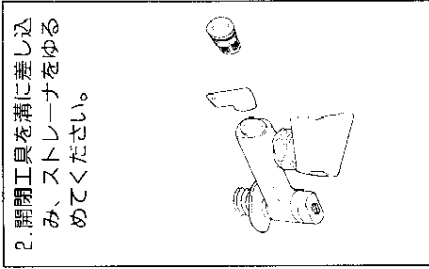
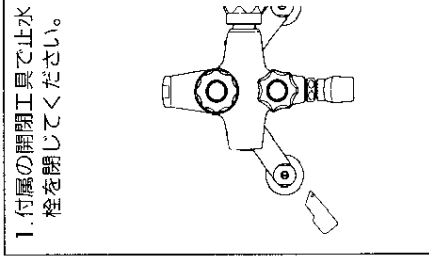
いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきシンナーやカーワックスなどをしませた布でみがいでください。ただし樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

ストレーナの掃除

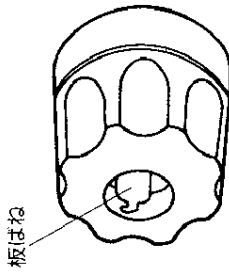
ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



5. このページ下段に添付している適量ラベルを設定量の目盛の上に下図のように貼りつけてください。



4. ストップバーのセットが終了したらピンを入れ、設定ハンドルを取りはずすと逆の手順で元の位置におさめてください。このとき、座金(大)を忘れずと設定ハンドルが回らなくなることがありますので注意してください。



適量ラベルを貼っておくとご使用になる方が容易に設定できます。貼るときは、ハンドル表面の汚れや水分をよくふきとってください。



故障したときは

故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

●修理を依頼される前に
簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に次の点検をしてください。

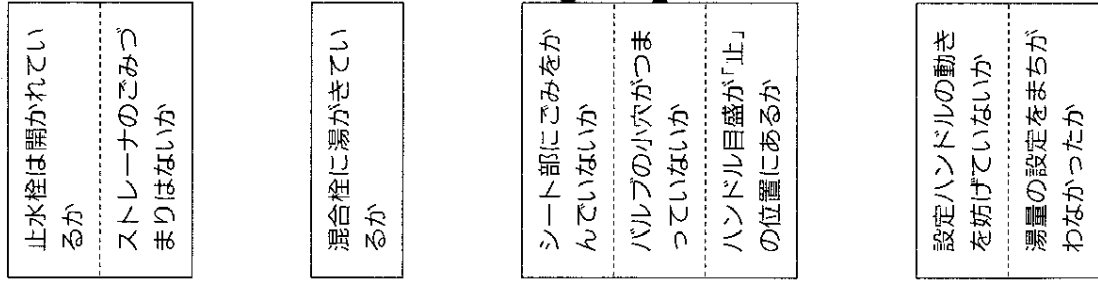
●故障内容

流量が少ない

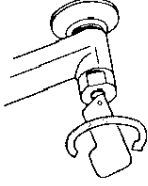
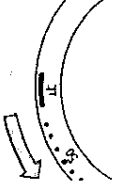
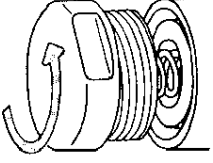
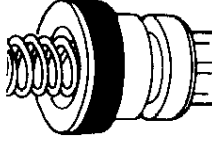
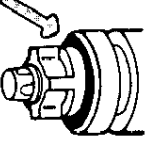
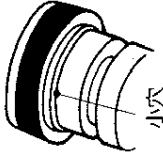
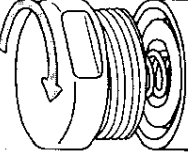
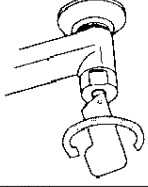
高温又は低温しか出ない

湯水が止まらない

湯量が大きく狂う



→自動バルブの掃除のしかた

1		水側・湯側の止水栓を閉め、湯水を止める。
2		設定ハンドルを止まるまで矢印方向へ回す。
3		バルブカバーを開ける。(3ページ参照)
4		バルブ部を取り出す。
5		シートパッキングにごみかみがないか調べる。
6		小穴が詰まっていたら細い針金で掃除する。(荷札の針金など)
7		バルブ部を元どおりにおさめ、バルブカバーを閉める。
8		水側・湯側の止水栓を開く。